

保険データによる自動車盗難実態調査より
**初公開！車上あらしの実態 狙いはオーディオ、カーナビ...
 盗まれる車は高級車だけ？ 実は普通の車の方が危ない！**

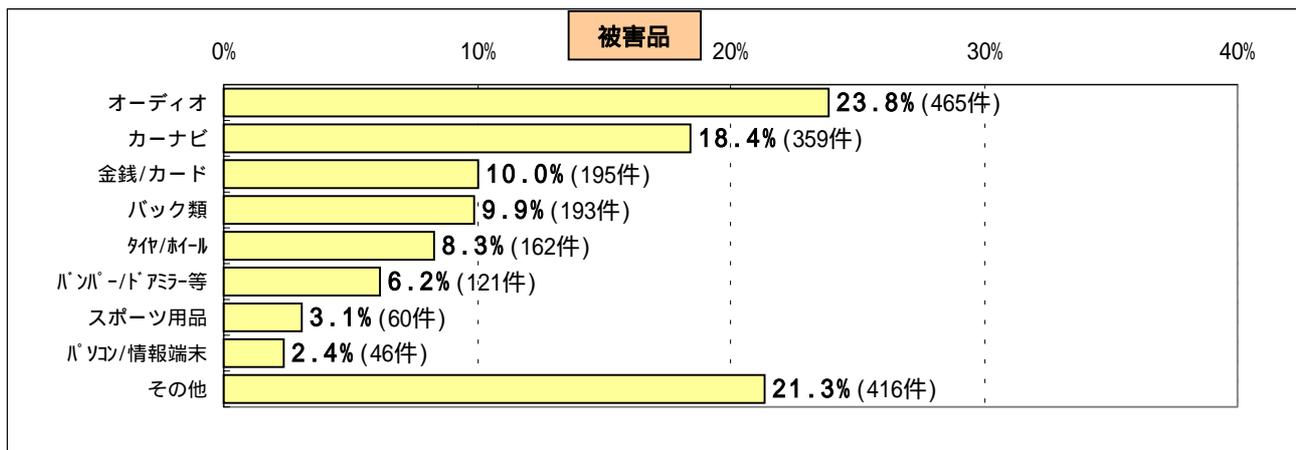
社団法人 日本損害保険協会（会長 松澤 建）では、自動車盗難の防止対策に取り組んでおり、その一環として本調査を毎年11月に実施しています（注）。今回は「自動車盗難（車両本体盗難）」に加え、「車上あらし」についても初めて調査を行い、その実態に迫りました。

（注）損害保険会社が2003年11月に保険金を支払った事案（4,295件）を対象に調査を実施。（詳細は別紙参照）

車上あらし(調査総数 2,859件)

1. 被害品の第1位は「オーディオ」！

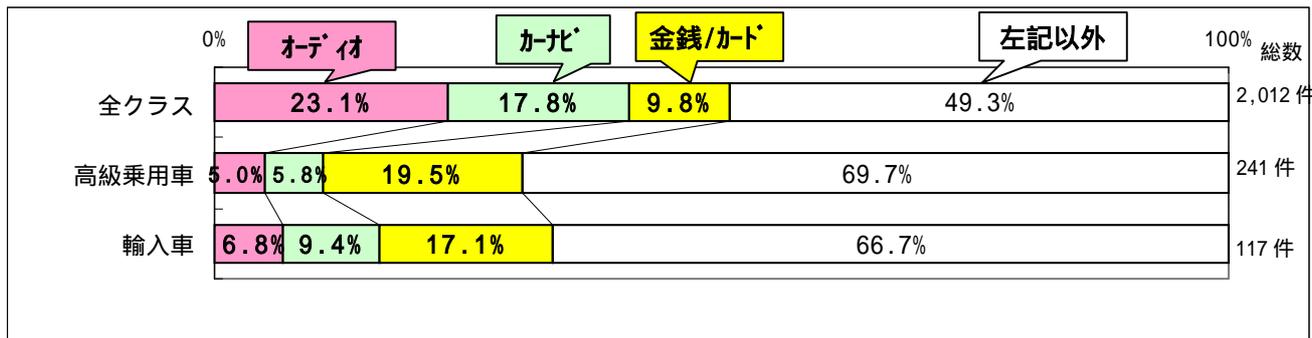
車上あらしの被害品第1位はオーディオで、その後に、第2位：カーナビ、第3位：金銭/カード、第4位：バック類の順で続く。



%は、被害の内容が判明した1,950件(1件で複数の被害項目がある場合あり)に対する当該被害品の割合
 上記被害のほか、ドア・鍵穴等の破損は63.3%（1,235件）に至っている。

2. 高級車・輸入車は「金銭/カード」、軽自動車は「オーディオ」が危ない！

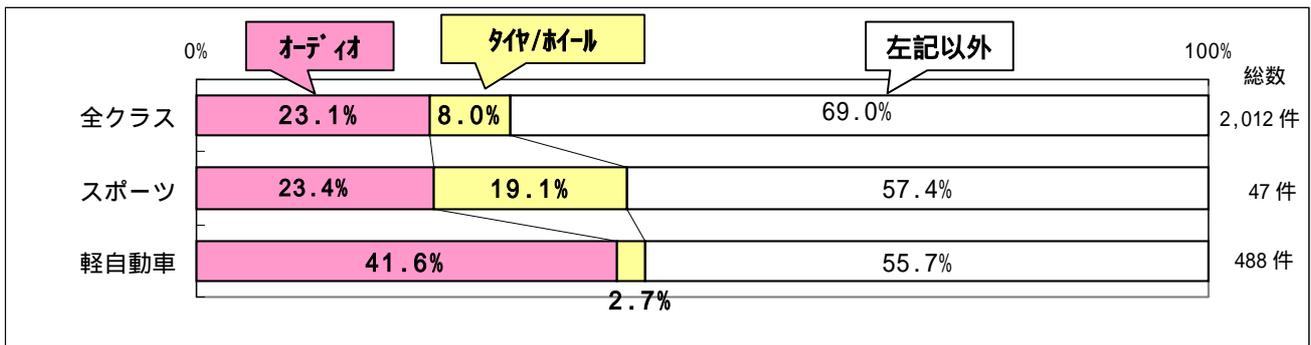
車のクラス別に被害品を分析したところ、高級乗用車と輸入車は「オーディオ」、「カーナビ」の盗難が少ない一方、「金銭/カード」などが多いことが分かった。



%は、当該クラスの被害品総数に対する当該被害品の割合

本資料は、警察庁記者クラブ、国土交通記者会に同時に配布いたしております。

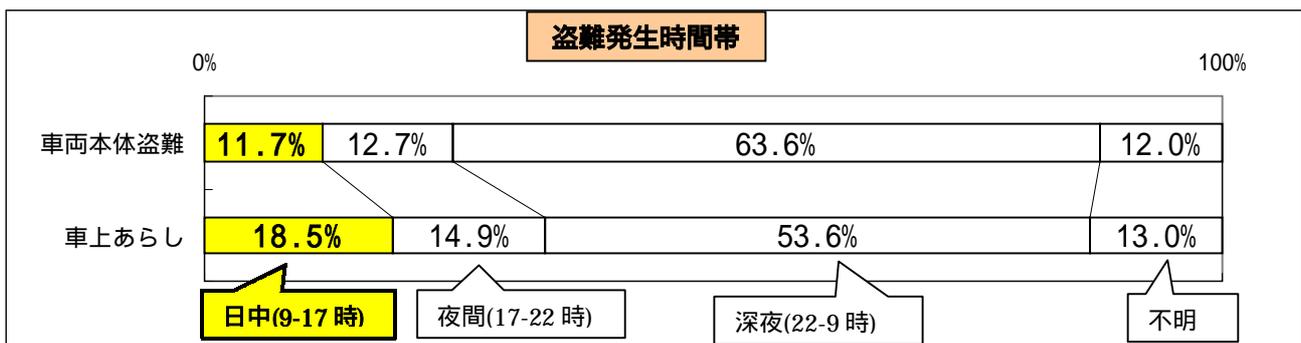
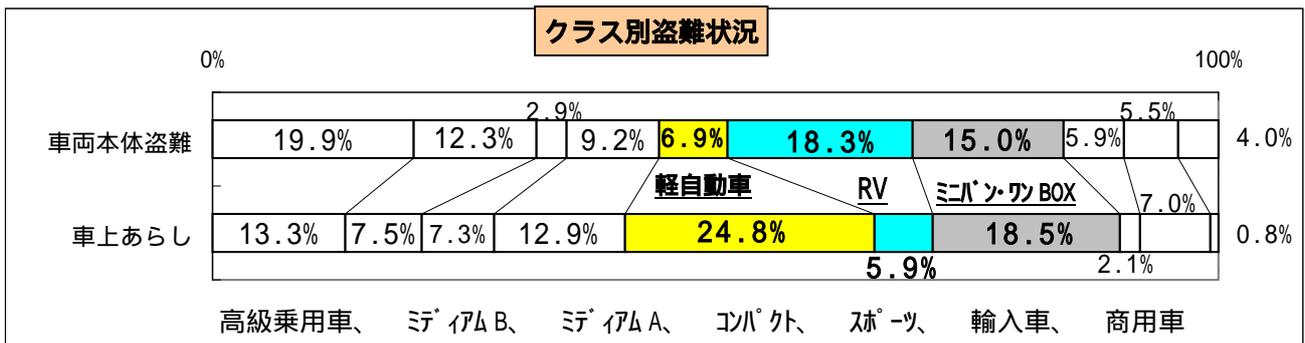
スポーツ車は「タイヤ・ホイール」の盗難が顕著であり、軽自動車の被害品は圧倒的に「オーディオ」が多い。



%は、当該クラスの被害品総数に対する当該被害品の割合

3. 車上あらしの平均被害額は25万円

車上あらしの平均被害額(保険金支払額)を求めたところ、25万円であった(車両本体盗難の平均被害額は193万円)。また、車両本体盗難と比べて、(1)軽自動車とミニバン・ワンボックスクラスなどの被害が多く、RVクラスなどは比較的少ない、(2)日中(9-17時)に被害に遭う比率が高い、(3)盗難場所は自宅(屋外)が最も多い、という特徴が明らかになった。



4. 被害多発車(車名別)の傾向

車上あらしは、車両本体盗難(後記参照)と比べて、軽自動車や量販車が被害多発車に多く含まれ、また「その他(上位10車以外)の車種」が占める割合も高い。車上あらしの犯人は、より幅広い車種を対象として犯行に及んでいることがうかがえる。

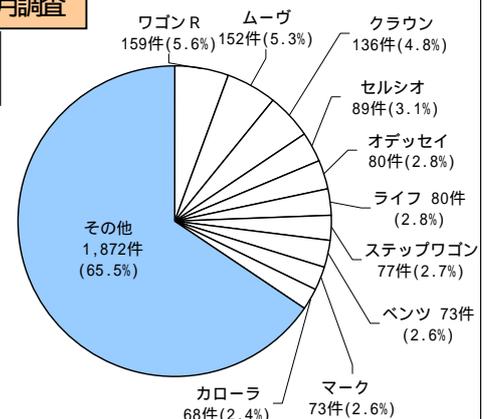
車上あらしを防ぐ基本

1. 車内に貴重品を置かない
2. 人目に付く所に駐車する。
3. 市販の盗難防止装置を活用する。

【車上あらし】 2003年11月調査

総数
2,859 件

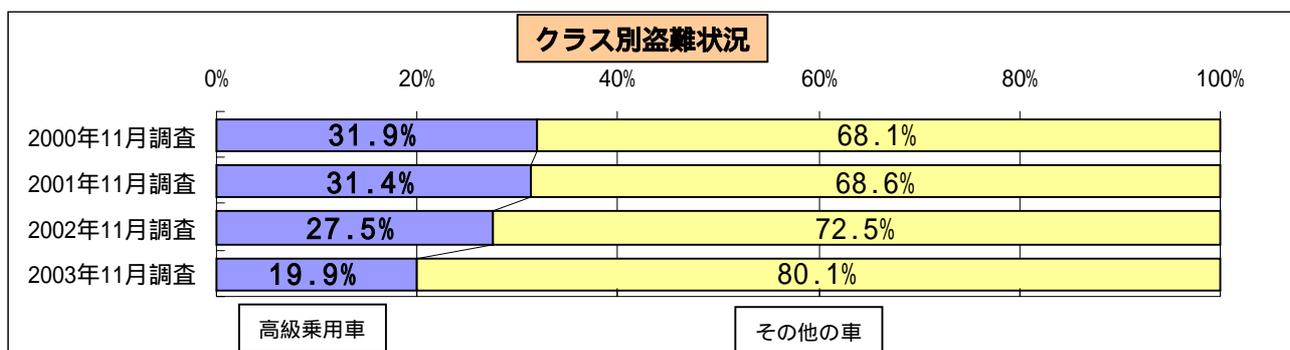
車上あらし



車両本体盗難(調査総数 1,436件)

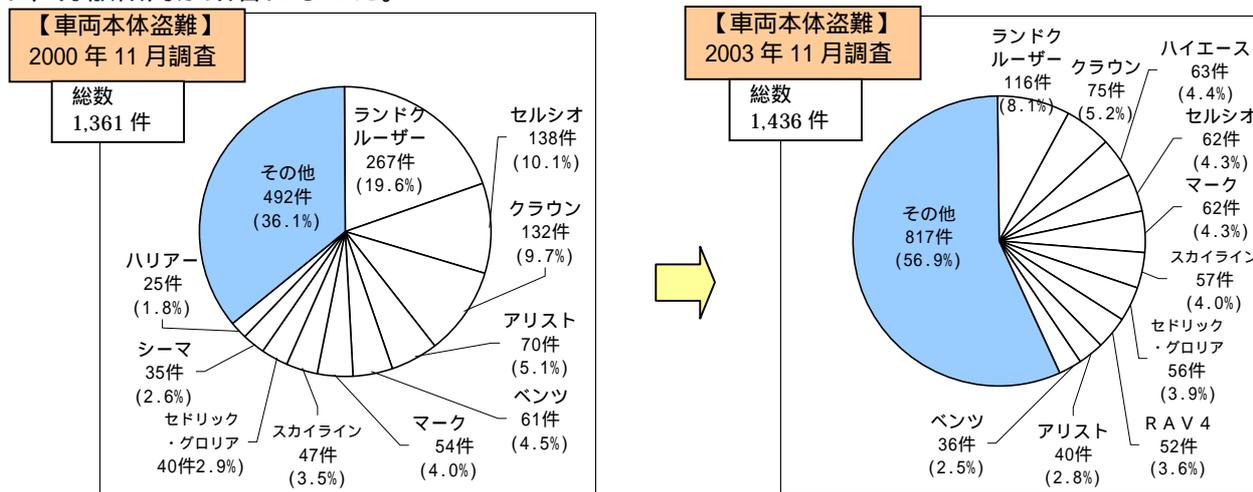
1. 高級乗用車以外の割合が大幅に増加

盗難車のうち3割を超えていた高級乗用車の割合が、年々減少。今回調査では2割を切った。これは、最近の高級乗用車の多くにイモビライザが装着されているため。イモビライザ未装着車に窃盗団のターゲットが広がっており、「狙われるのは高級車。普通の車は大丈夫」といった認識はもう、通用しない。



2. 被害車種は分散傾向

上記1の現象は、車名別に分類すると更に明らかになる。盗難多発車(上位10車種)の顔ぶれは、3年前の調査とほぼ同じであり、これらの車のユーザーは引き続き警戒が必要である。しかし、これらの車には、イモビライザが装着されているケースが増えたため、年々盗難が減少し、今回の調査では全体のうち上位10車種が占める割合が43.1%(2000年11月調査:63.9%)に下がり、分散傾向が顕著になった。



本件に関するお問い合わせ先

社団法人 日本損害保険協会 (〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9)
 業務運営部 自動車盗難対策室 土屋 政幹 (TEL 03-3255-1226)
 総合企画部 広報室 山本 真史 (TEL 03-3255-1213)

ニュースリリースは、ホームページでもご覧になれます。 <http://www.sonpo.or.jp>

2003年度自動車盗難事故 実態調査結果

【調査の概要】

- 調査期間 : 2003年11月1日～11月30日
 調査対象会社数: 23社(損保協会非会員会社を含む。)
 あいおい、朝日、共栄、スミセイ、セコム、セゾン、損保ジャパン、ソニー、東京海上、大同、日動、日新、ニッセイ同和、日本興亜、富士、三井住友、三井ダイレクト、明治損保、安田ライフ、安田ライフダイレクト、AIU、アメリカンホーム、エース
- 調査対象事案 : 全国で発生した自動車盗難(車両本体盗難)事故および車上あらし(部用品盗難含む)事故で、調査期間内に車両保険金を支払った(特約等による支払を含む。)事案。 調査総数4,295件(うち車両本体盗難1,436件、車上あらし2,859件)

目次

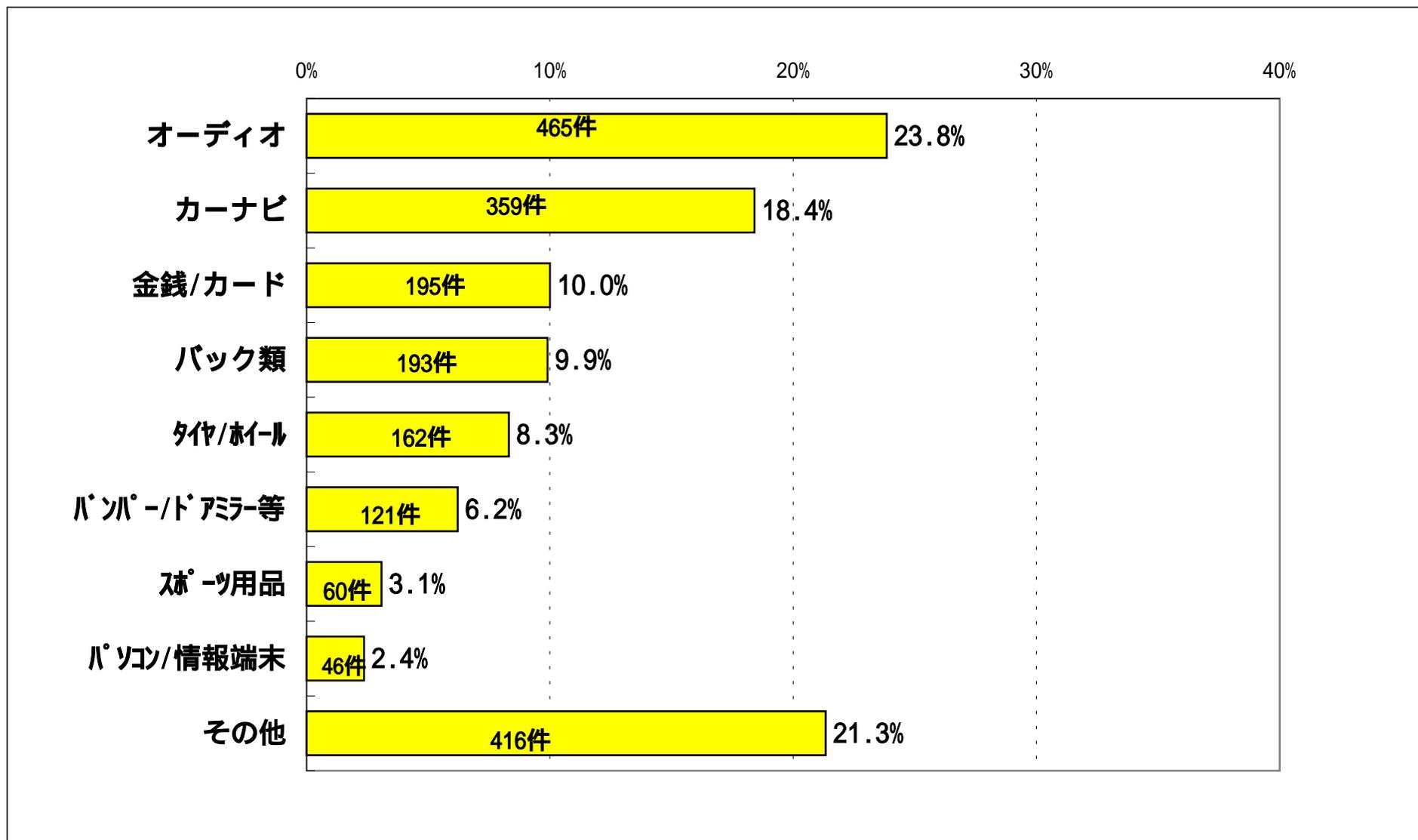
車上あらし：被害品	・・・	P 1
車上あらし：被害品	・・・	P 2
車上あらし：クラス別盗難状況と盗難発生時間帯	・・・	P 3
車上あらし：被害多発車(車名別)の傾向	・・・	P 4
車上あらし：盗難発生場所	・・・	P 5
車両本体盗難：クラス別盗難状況	・・・	P 6
【参考】イモビライザとは？	・・・	P 7
車両本体盗難：車名別盗難状況	・・・	P 8
イモビライザ装着の効果(セルシオの例)	・・・	P 9
イモビライザ装着の効果(ランドクルーザーの例)	・・・	P 10



車上あらし：被害品

車上あらし

車上あらしの被害品第1位はオーディオで、およそ4件に1件が盗難に遭っている。その後に、第2位：カーナビ、第3位：金銭/カード、第4位：バック類の順で続く。

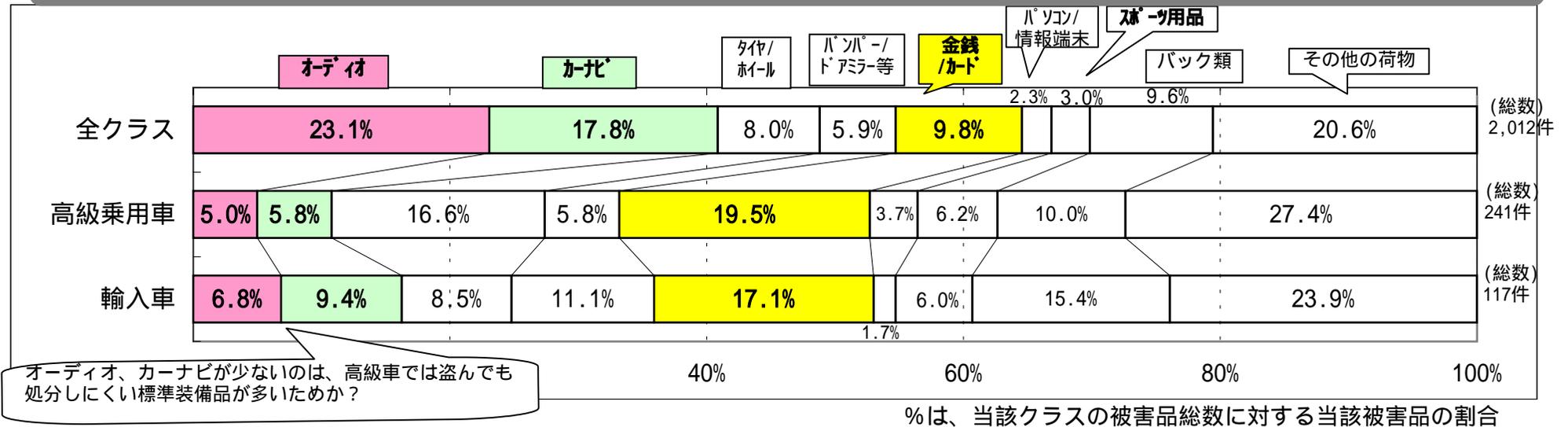


%は、被害の内容が判明した1,950件(1件で複数の被害項目がある場合あり)に対する当該被害物の割合
上記被害のほか、ドア・鍵穴等の破損は、63.3% (1,235件) に至っている。
車両保険(各種特約)の支払条件(支払対象等)は、保険会社および商品により異なります。(以下同じ)

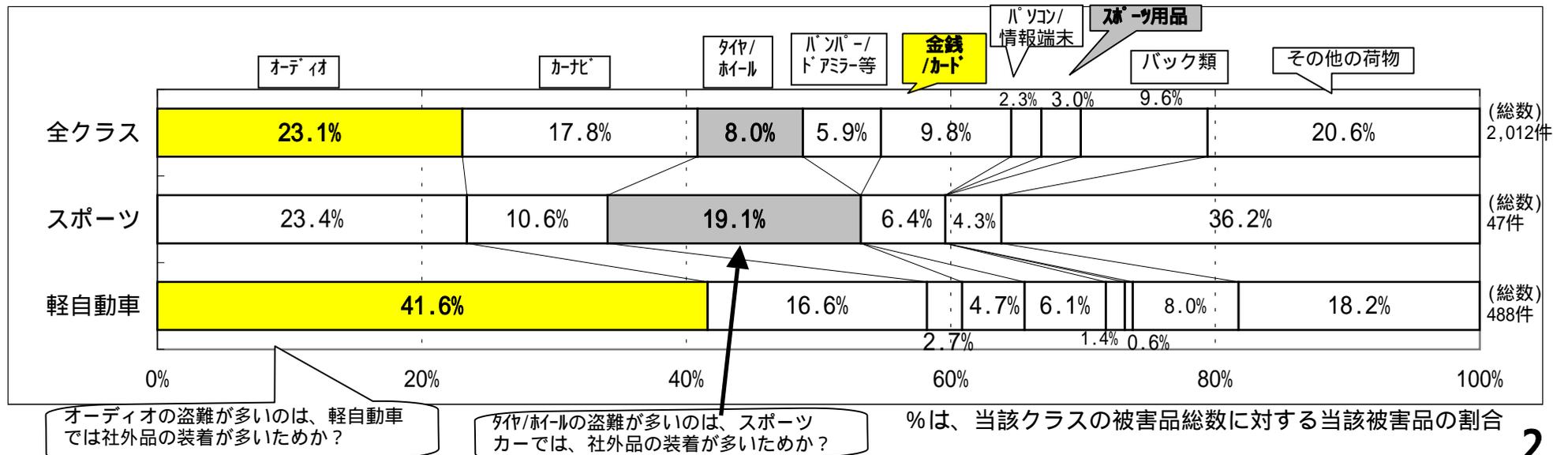
車上あらし：被害品

車上あらし

車のクラス別に被害品を分析したところ、高級乗用車と輸入車は「オーディオ」、「カーナビ」の盗難が少ない一方、「金銭/カード」などが多いことが分かった。



スポーツ車は「タイヤ・ホイール」を盗まれることが多く、軽自動車の被害品は圧倒的に「オーディオ」が多い。

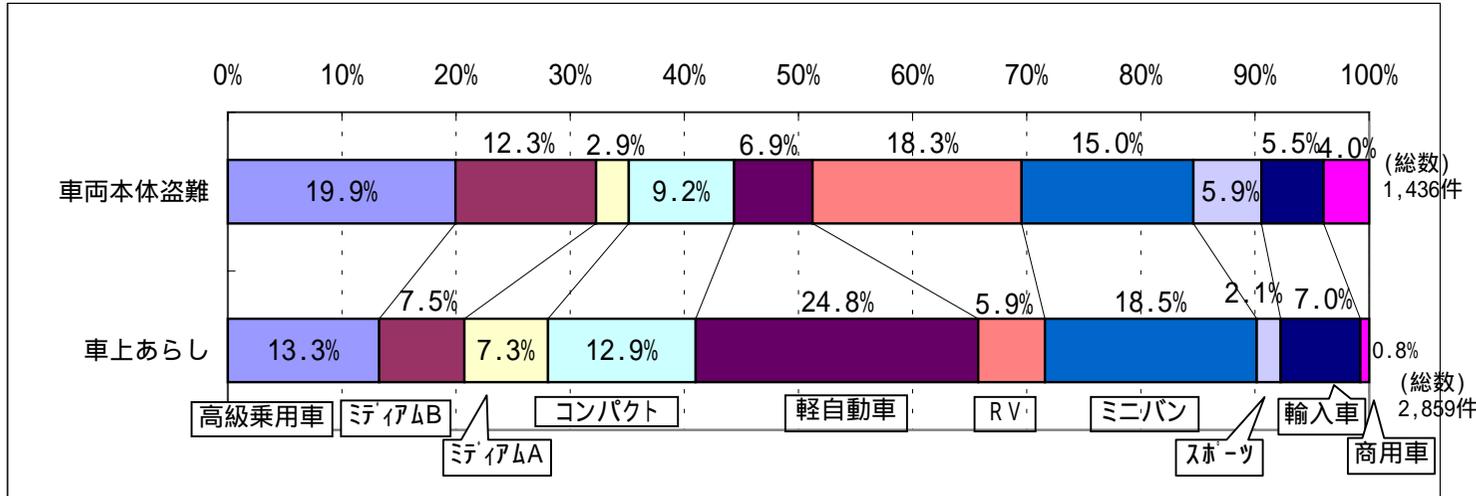


車上あらし：クラス別盗難状況と盗難発生時間帯

車上あらし

クラス別盗難状況の比較

車上あらしを車両本体盗難と比べると、軽自動車とミニバン、コンパクトクラス、ミディアムAクラスなどの被害が多く、RVクラス、高級乗用車、スポーツカーなどは比較的少ない。

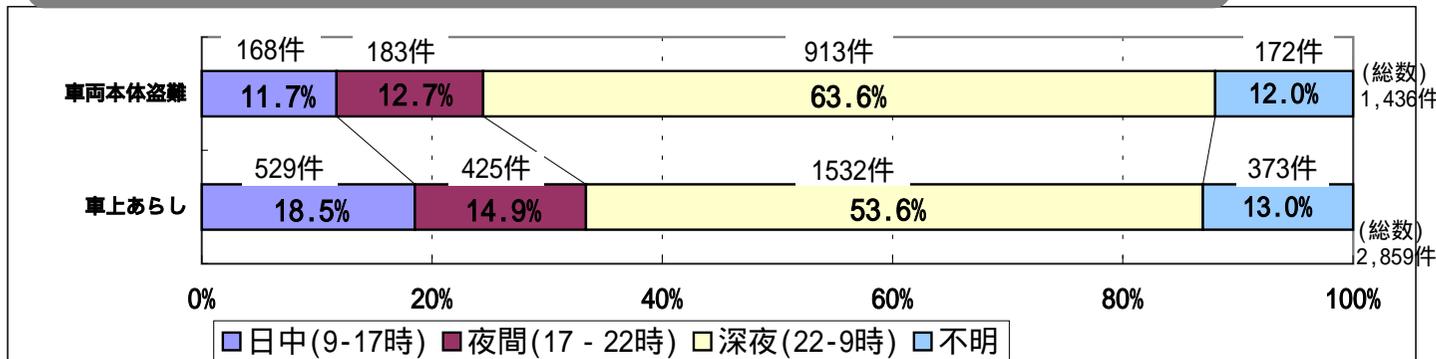


<主なクラス区分の詳細>

1. コンパクトクラス: 量販車種型が概ね排気量1.5リットル以下のもの (例: シビック)
2. ミディアムAクラス: 量販車種型が概ね排気量1.5リットル~2.0リットル以下のもの (例: レガシイ)
3. ミディアムBクラス: 量販車種型が概ね排気量2.0リットル超の量販価格帯が300万円以下のもの(非高級乗用車) (例: マーク)
4. 高級乗用車クラス: 量販車種型が概ね排気量2.0リットル超の高級車 (例: クラウン)
5. RVクラス: オフロード車など (例: ランドクルーザー)
6. スポーツ スポーツ・スペシャルティクラス (例: インテグラ)
7. ミニバン・1BOXクラス (例: エスティマ)
8. 商用車: 商用に使用するトラックなど (例: エルフ)

盗難発生時間帯の比較

深夜の盗難被害が多く、車上あらしよりも、車両本体盗難の方がその傾向が顕著である。(車上あらしは日中(9~17時)の被害も多い。)



ワンポイント アドバイス

たかが車上あらしと考えていませんか？

車上あらしでも平均で25万円もの支払(被害)が発生しています。車の中に貴重品を置かないのは当然として、駐車する時は人目につく所に駐車する、市販の盗難防止装置を活用する、などで車と財産を守りましょう。

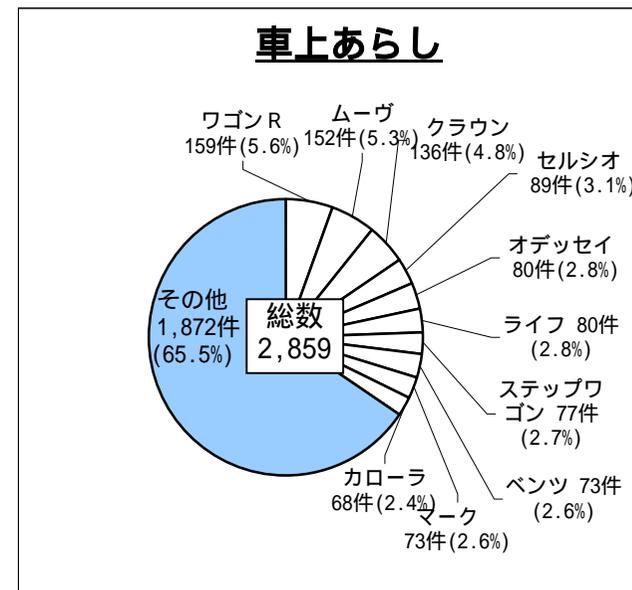
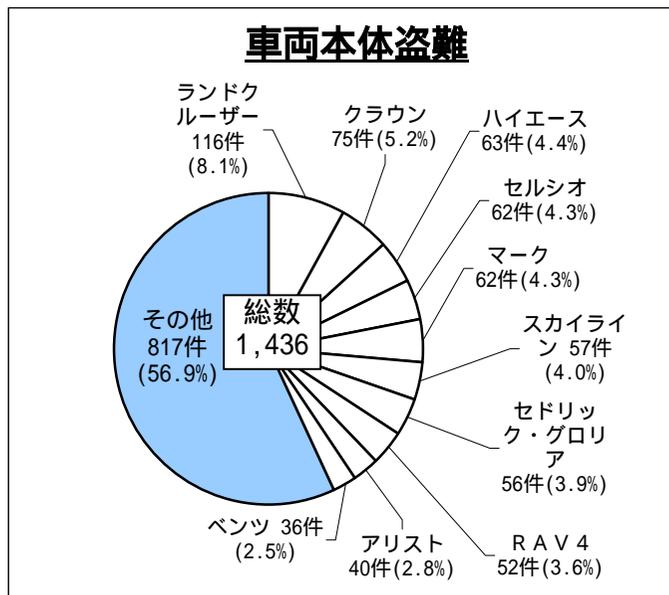
車上あらし：被害多発車(車名別)の傾向

車上あらし

	支払件数	支払保険金(万円)	平均支払保険金(万円)
車両本体盗難	1,436	276,850	193
車上あらし	2,859	71,257	25

被害多発車種の比較

車上あらしは車両本体盗難と比べると、特定の盗難多発車種に集中しているということではなく、多数の車種で被害が発生している。



(注1)
 1. クラウンには、マジスタ、エステートを含む。
 2. ランドクルーザーには、プラドを含む。
 3. スカイラインには、GTRを含む。
 4. マークには、クラスター、フェイスを含む。

(注2)
 1. この調査は、損害保険会社の車両保険を契約した人が盗難の被害に遭った場合に支払われた保険金データを集計し、その結果を分析したものであり、車両保険を契約していない車のデータは反映されていません。また、車両保険が付けられているのは比較的新しい、高級車等の高額なものが多い傾向にあります。

2. この調査は、保険金支払件数の実数で集計しています。したがって、車により保有台数が異なるため、盗難に遭う確率の多寡とは必ずしも一致しません。

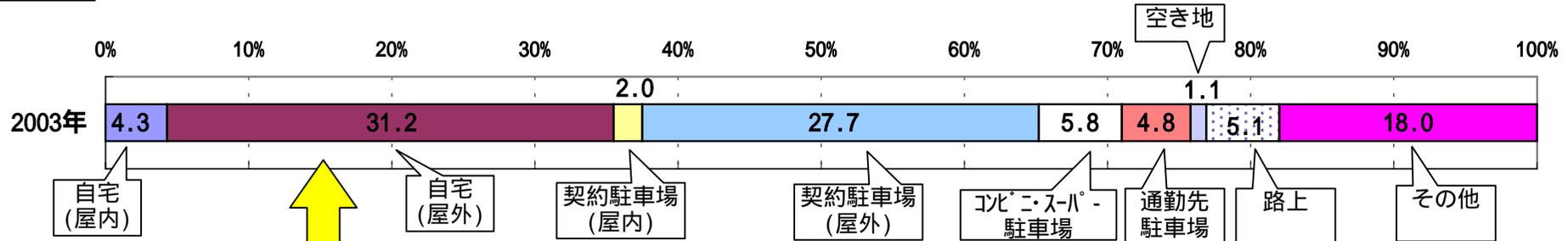
3. 盗難被害が多い車は必ずしも盗難防止性能が低いというわけではありません。

車上あらし：盗難発生場所

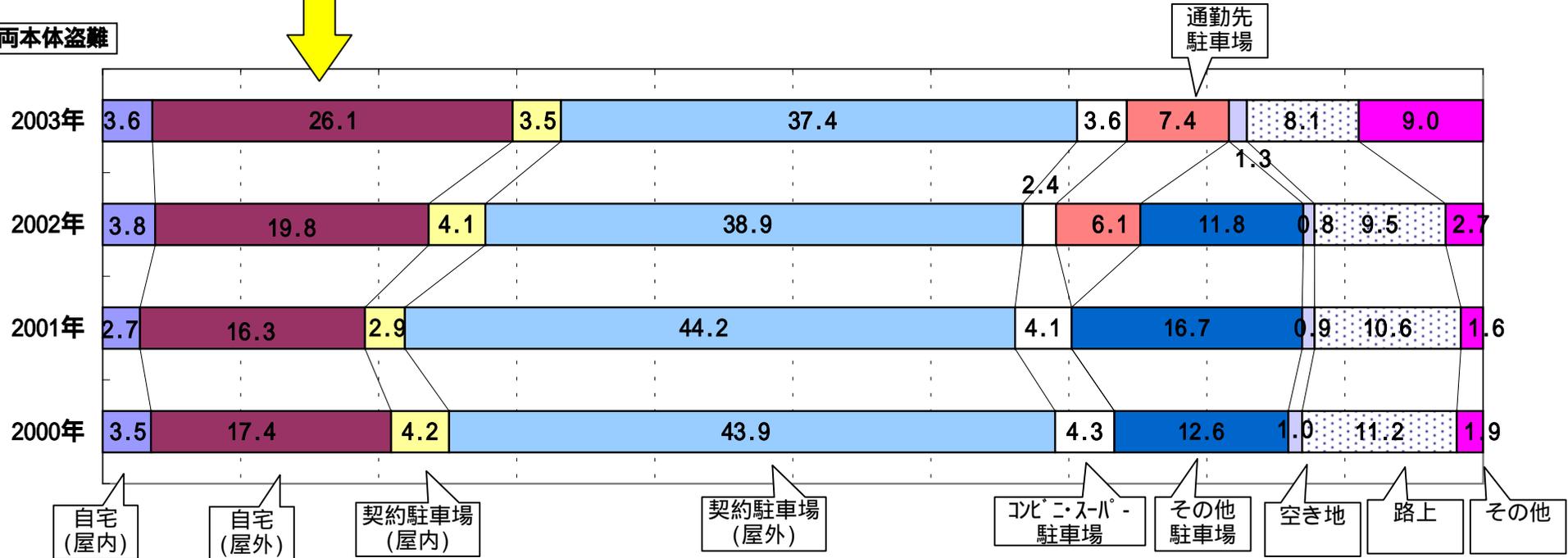
車上あらし

車上あらしは車両本体盗難と比べると、屋外の自宅駐車場でも被害が多発している。

車上あらし



車両本体盗難

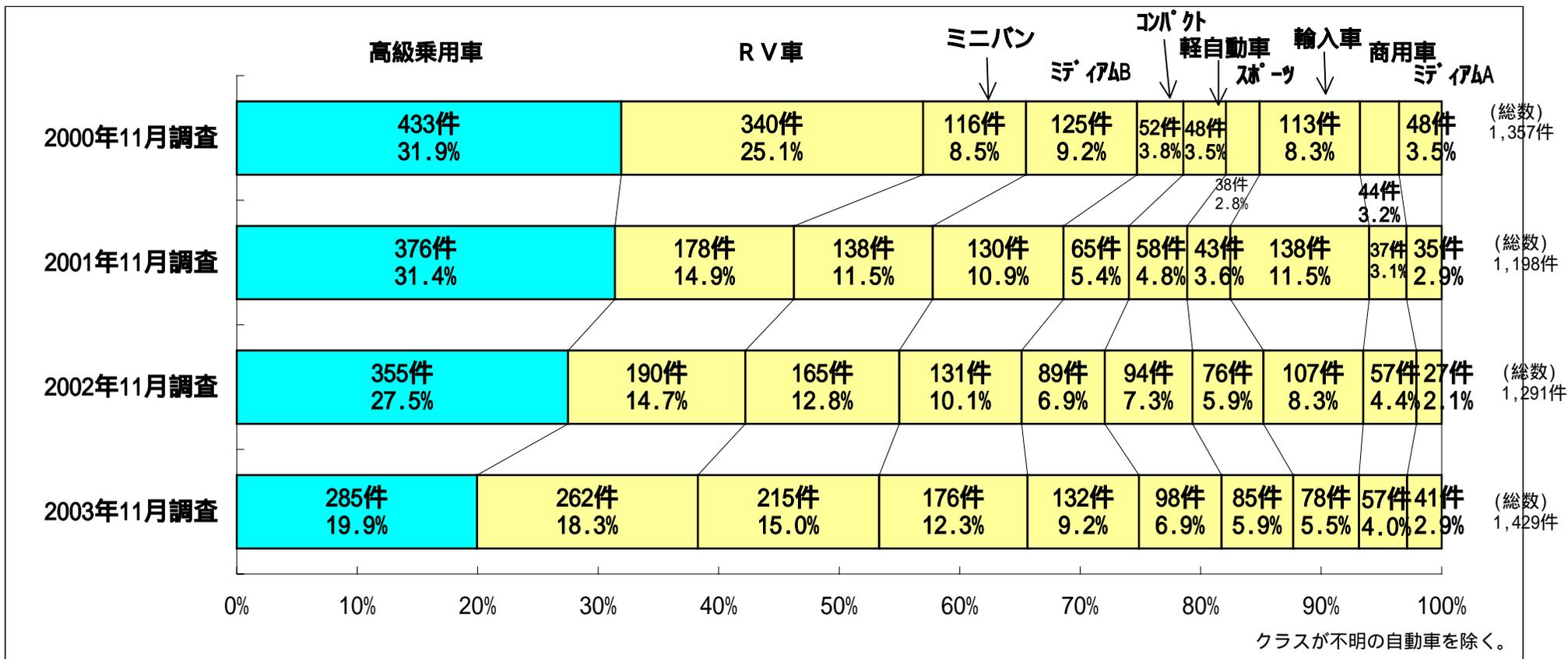


2000年と2001年の調査では、「通勤先駐車場」について、調査していない。また、2003年の調査では、「その他駐車場」について、調査していない。

車両本体盗難：クラス別盗難状況

車両本体盗難

全体の3割を超えていた高級乗用車の割合が年々減少。今回調査では2割を切った。
高級乗用車を中心に新車にイモビライザ（次ページ参照）が装着されて盗難が減少し、イモビライザが装着されていない車などに被害が拡散している。



ワンポイントアドバイス

「狙われるのは高級車。普通の車は大丈夫。」といった見方は誤り。イモビライザの装着等で防衛しないと、あなたの車も”危険”です。

<主なクラス区分の詳細>

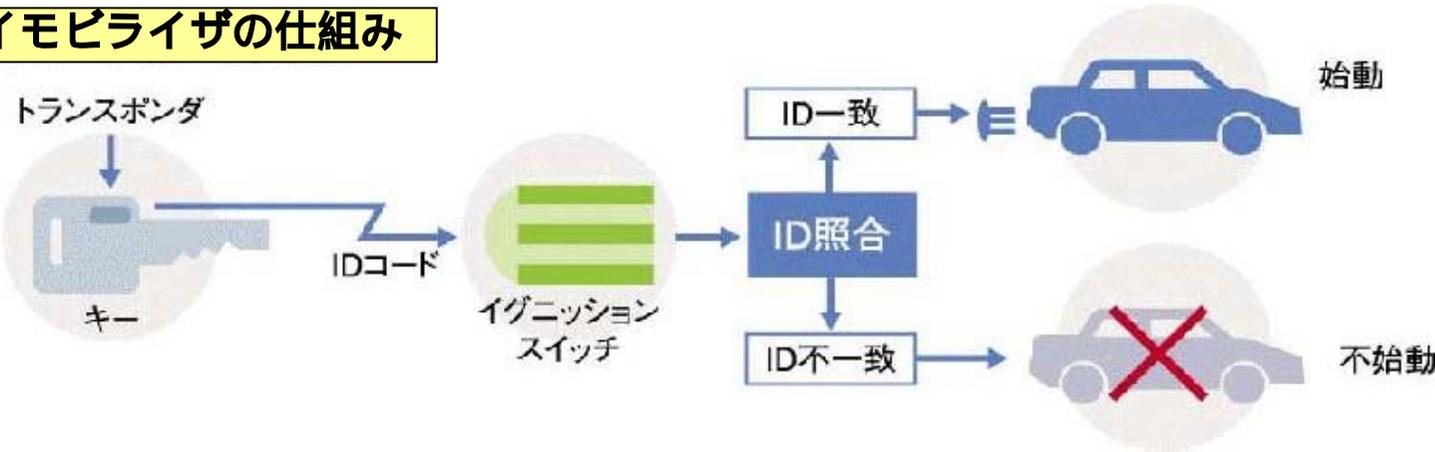
1. コンパクトクラス：量販車種型が概ね排気量1.5リットル以下のもの（例：シビック）
2. ミディアムAクラス：量販車種型が概ね排気量1.5リットル～2.0リットル以下のもの（例：レガシィ）
3. ミディアムBクラス：量販車種型が概ね排気量2.0リットル超の量販価格帯が300万円以下のもの（非高級乗用車）（例：マーク）
4. 高級乗用車クラス：量販車種型が概ね排気量2.0リットル超の高級車（例：クラウン）
5. R Vクラス：オフロード車など（例：ランドクルーザー）
6. スポーツ：スポーツ・スペシャルティクラス（例：インテグラ）
7. ミニバン・1BOXクラス（例：エスティマ）
8. 商用車：商用に使用するトラックなど（例：エルフ）

【参考】イモビライザとは...？

イモビライザ (Immobilizer : 電子式移動ロック装置)

エンジンキーに埋め込まれているトランスポンダ(電子チップ)のIDコードを車両本体内で照合し、正規のキーと確認されないと、電氣的にエンジンが始動しないという盗難防止装置 (メーカー純正品の例)。EUでは、1997年1月以降、新車への装着を義務付け、盗難件数が大幅に減少している。日本国内で販売される自動車にも高級車を中心に装着 (標準装備またはメーカーオプション設定) が広がっており、盗難防止の切り札として普及の拡大が期待されている。

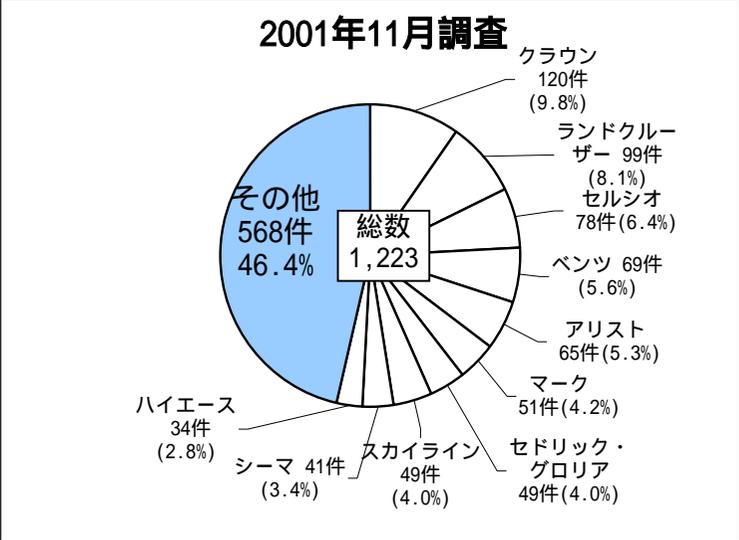
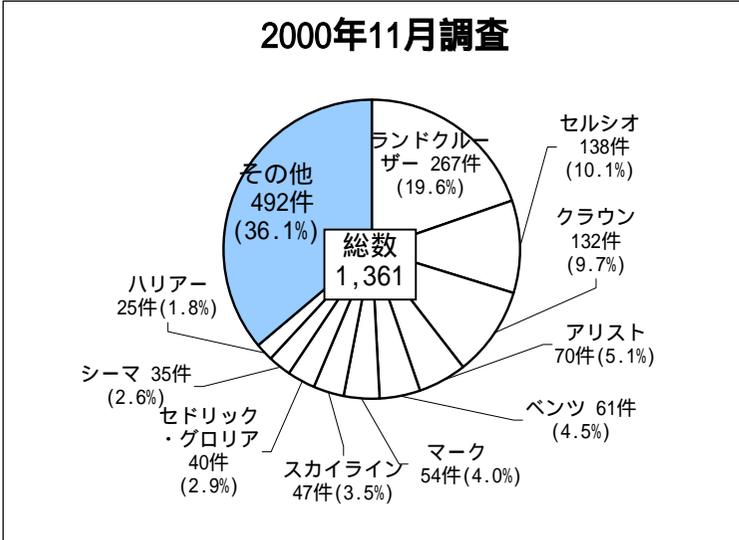
イモビライザの仕組み



車両本体盗難：車名別盗難状況

車両本体盗難

3年前の調査では、盗難多発車種(上位10車)の占める割合が6割を超えていたが、その割合は年々減り続け、2003年の調査では、4割強となっている。これは、狙われていた車の多くに、イモビライザが装着されたためと思われる。(イモビライザ装着の効果については、P9,10参照)



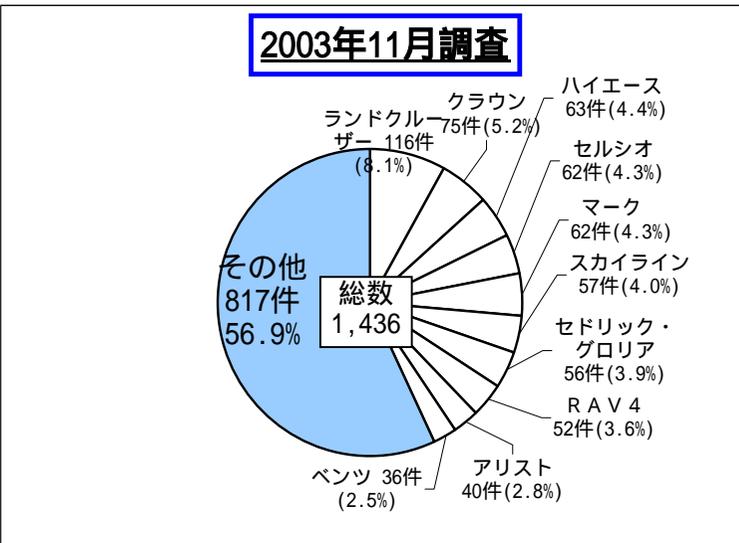
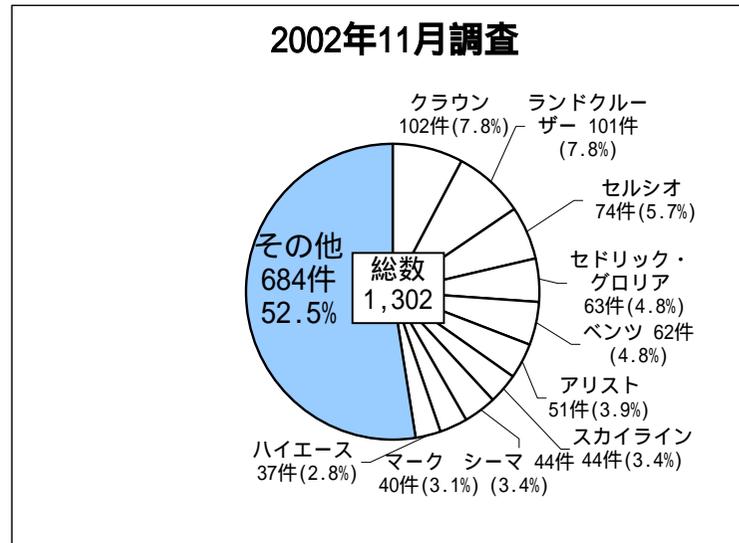
- (注1)
1. クラウンには、マジスタ、エステを含む。
 2. ランドクルーザーには、プラドを含む。
 3. スカイラインには、GTRを含む。
 4. マークには、クresta、フェイスを含む。

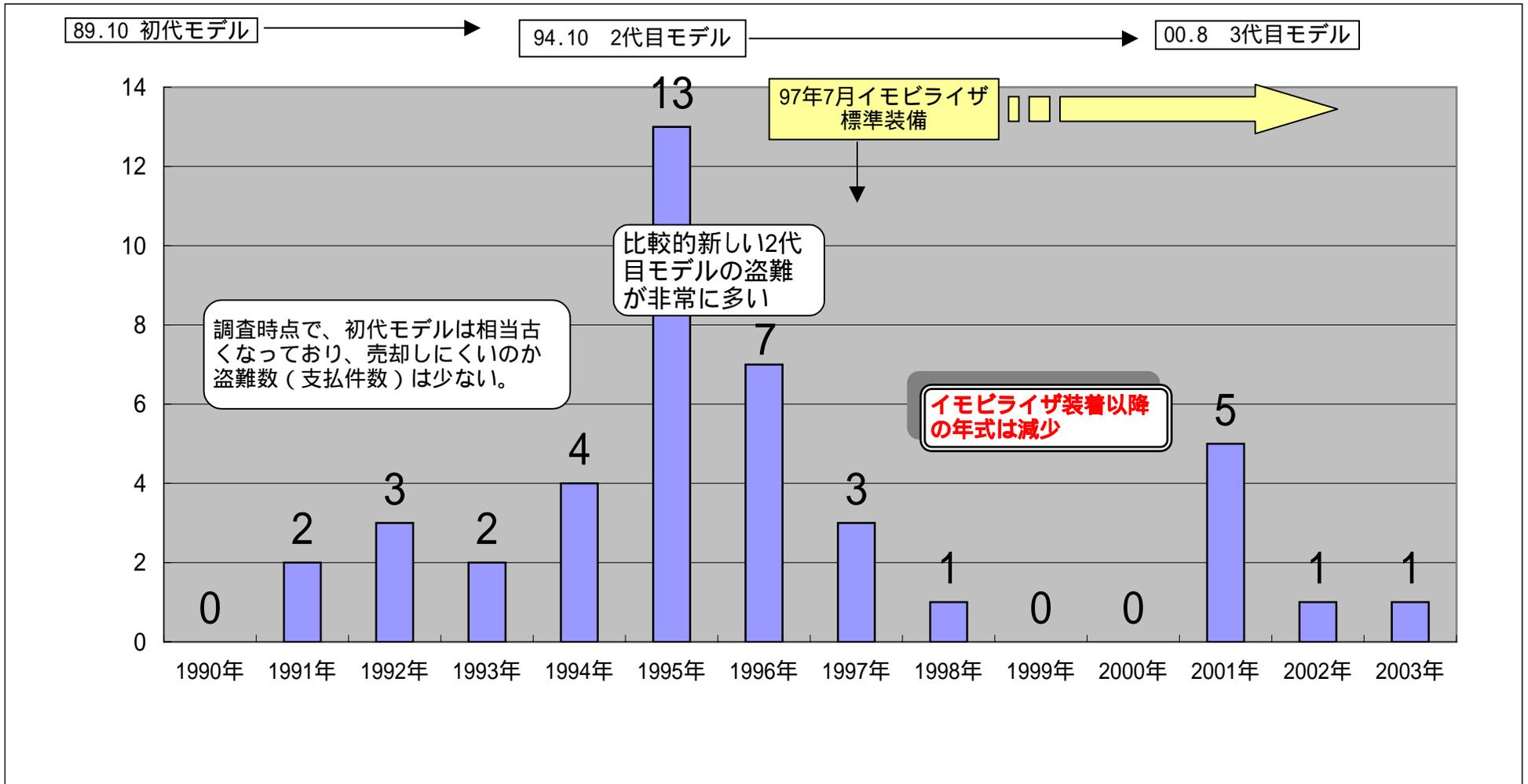
(注2)

1. この調査は、損害保険会社の車両保険を契約した人が盗難の被害に遭った場合に支払われた保険金データを集計し、その結果を分析したものであり、車両保険を契約していない車のデータは反映されていません。また、車両保険が付けられているのは比較的新しい、高級車等の高額なものが多い傾向にあります。

2. この調査は、保険金支払件数の実数で集計しています。したがって、車により保有台数が異なるため、盗難に遭う確率の多寡とは必ずしも一致しません。

3. 盗難被害が多い車は必ずしも盗難防止性能が低いというわけではありません。これらの車は、人気車種であったり高額で売却できるため狙われているものと思われます。



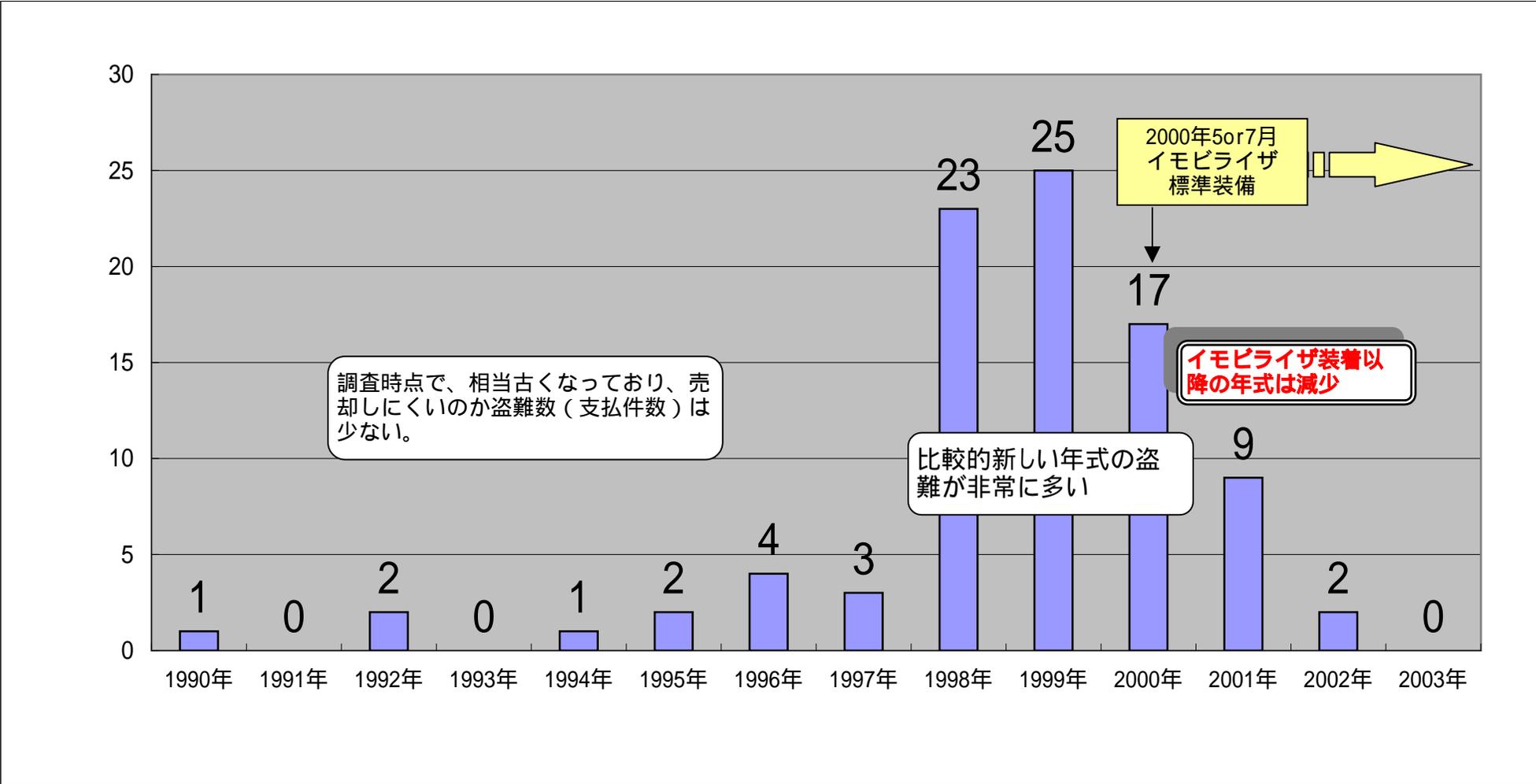


初度登録年														合計
1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	
0	2	3	2	4	13	7	3	1	0	0	5	1	1	42

(注)・97年7月にイモビライザを全車標準装備したセルシオの支払データ(2003年11月の1カ月間の調査)を初度登録年別に分析したもの。

・キー付け放し、キー車内保管があった事案は除いた。

・イモビライザ装着車種の犯行手口は不明。(純正キーの盗難、レッカー移動等の可能性がある)



初度登録年														合計
1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	
1	0	2	0	1	2	4	3	23	25	17	9	2	0	89

(注) ・00年5月(プラドは7月)にイモビライザを全車標準装備したランドクルーザーの支払データ(2003年11月の1カ月間の調査)を初度登録年別に分析したもの。

- ・キー付け放し、キー車内保管があった事案は除いた。
- ・イモビライザ装着車種の犯行手口は不明。(純正キーの盗難、レッカー移動等の可能性がある)